

ウクライナ避難民保護にみる国際協力の将来 - UNHCRスタッフと語る -

難民保護のために有効な国際協力体制をいかに構築するか-国際社会はこの問題に非常に長い間取り組んできたものの、なかなか解決策を見出せないできた。しかし、ウクライナ難民危機は、難民への手厚い保護を目的とした国際協力体制が早急に整備されうる、という一つの先例を示した。ウクライナの事例は難民保護の国際協力のあり方を抜本的に変えたのか。それとも、一般的な難民保護を目的とする国際協力にはまだ大きな課題が残されているのか。難民への国際社会の対応は今後どう変わっていくのか。そして、日本の関連国際協力への関与は今後どうなっていくのだろうか。本シンポジウムでは、国連、とりわけUNHCRの現在の活動についての批判的かつ建設的検討を通じ、難民保護のための国際協力のあるべき姿と、それに至るまでに克服すべき課題を明らかにする。

冒頭挨拶

曄道 佳明 上智大学長

基調講演

ジェームズ・F. ホリフィールド

米サザンメソジスト大学教授、ウッドロー・ウィルソン・センター、グローバル・フェロー

パネル・セッションと質疑応答

難民保護の国際協力ーウクライナの教訓を踏まえて

滝澤 三郎
川口 智恵
帯刀 豊

東洋英和女学院大学名誉教授、元UNHCR駐日代表、元国連UNHCR協会理事長

東洋学園大学専任講師、旧JICA研究所（現在、JICA緒方貞子平和開発研究所）元研究員

UNHCRジュネーブ本部、対外関係部門、ドナー関係シニア・オフィサー

司会

岡部 みどり 上智大学法学部国際関係法学科教授



曄道 佳明



J・F.ホリフィールド



滝澤 三郎



川口 智恵



帯刀 豊



岡部 みどり

日時：10月26日（水） 17:00-19:30

対象：高校生・大学生・一般

言語：英語・日本語（同時通訳あり）

- ・登録されたメールアドレス宛にオンライン参加用のアクセス情報やご案内を送付いたします。
- ・オンライン視聴にかかる通信費等は視聴する方の負担となります。

無料・要事前登録
Zoomウェビナー



主催：上智大学
お問合せ：un-weeks-co@sophia.ac.jp